

令和3年6月30日

ESG投資の視点を取り入れた船舶投資ファンドへの出資について

トモニホールディングスグループの徳島大正銀行は、アンカー・シップ・パートナーズ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：篠田哲郎）が組成した、ESG（環境・社会・企業統治）投資の視点を取り入れた船舶投資ファンド「アンカー・ディスカバリー合同会社」（以下、「本ファンド」）に対する出資契約を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

本ファンドは、海運業界に対する積極的なESG投資で、環境や社会に前向きな影響をもたらす分野に対しての投資を予定しています。本ファンドの主要な投資ターゲットは、環境負荷の低い液化天然ガス（LNG）を燃料とするLNG運搬船を予定しており、船舶運航に使用する燃料を重油からLNGへ転換することにより、船舶運航時におけるCO₂の排出が削減できます。将来的には、CO₂を排出しない水素やアンモニアを燃料とする船舶への投資も検討するなど、本ファンドの取組は、脱炭素社会の実現に貢献するものと考えております。

また、本ファンドは、ESGと経済合理性を両立させることで持続可能な投資を目指すインパクト投資の概念を取り入れており、三井住友信託銀行からインパクト投資との評価認定を受け、更に格付機関である日本格付研究所（JCR）からも第三者意見を取得しております。

当行は、今後も金融・サービスの提供を通じて、脱炭素社会の実現などの社会の課題解決に取り組んでまいります。



以上